

マジレカ・ジャパン株式会社

1. 会社状況

(本社)所在地	〒270-1168 千葉県我孫子市根戸573-66		代表者名	池田 純子		
電話/FAX番号	04-7189-8158	URL	https://www.mageleka-japan.com/			
設立年月	2021年2月	資本金(百万円)	9			
売上高(百万円)	非公開	従業員(名)	1			
事業内容	分析機器(パルスNMR)の輸入販売、分析機器の消耗品販売 技術相談、分析機器による受託測定					
主要製品	微粒子分散体評価・粒子界面評価に特化した小型パルスNMR					
東葛テクノプラザ 連絡先	役職名	代表取締役	氏名	池田 純子	電話番号	04-7189-8158
	E-mail	info@mageleka-japan.com	入居室	609		

2. 東葛テクノプラザにおける研究・事業開発概要

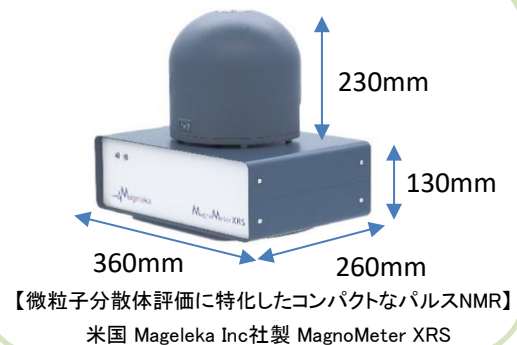
■パルスNMR方式 濃厚分散体プロセス連続モニタリングシステムの実用化■

国内の工業製品の多くは粒子や繊維状物質が高濃度で分散した微粒子分散体が中間体および最終製品であることが多いのですが、分散凝集状態の評価は希釈等の前処理をする事が一般的です。パルスNMR(TD-NMR)は高濃度微粒子分散体を前処理なしに分取することなく分散体を20秒程度で緩和時間を測定でき、得られた緩和時間は比表面積(粒子径)に換算も可能です。

微粒子分散体を濃厚状態で評価したい企業様、僅かな界面の違いを数値化したい方、何かが違うけど数値化できずお困りの方。最適な分散剤濃度や分散終点を知りたい等々微粒子分散体での問題解決のお手伝いをさせていただきます。



【身近な高濃度微粒子分散体の例】



3. コア技術(保有技術等)

《保有技術》

英国ブリストル大学にて40年にわたりの研究されてきた高濃度微粒子分散体をパルスNMRで評価するノウハウをMageleka Inc社および弊社が保有しています。

パルスNMRにより得られる緩和時間は様々な理由により変化します。特に高濃度微粒子分散体から得られる結果は複雑である場合もありますが弊社所有の蓄積されたデータおよびノウハウによりそれぞれの分散体がどのような状態であるか予測する事が出来ます。

4. 事業展開

《現在》

ベンチトップ型の既存装置の販売
本装置を用いた受託測定や技術相談を主軸に粉体や分散体を研究されている国内大学との共同研究をおこなっております。

また微粒子分散体だけでなくパルスNMR(TD-NMR)の一般的な評価としてゲル状物質や樹脂の評価も行っております。

《今後》

人口の減少、CV19対策の為の少人数化可能な濃厚微粒子分散体を分取することなく前処理なしに流したまま緩和時間を連続的に自動取得可能な製造プロセス組み込み型システムの開発を行います。

特記事項

【認定・受賞】